

大網の藤屋さんに糶にするお米を託し、スタッフの体調・行動管理の厳格化が進められています。無事、この難局を乗り越えられますように！

○第 200 回 小山町 YPP、田作り(畦の整備 2) 1月15日(土)

1月に入ると小山では田んぼが凍る日々が続いていました。6日には10cm近い積雪もあり、すっかり冬の静けさに落ち着いている最中にありました。田んぼも畦も至る所が凍っていて、鍬が入らない状態でしたが、山からの湧き水の通る、おほたる田んぼ山側の水路は凍りません。そこで、湧き水が田んぼにうまく回る様に、その水路の整備を行いました。例年2月には赤ガエルの産卵も始まります。水回しと水漏れ対策をしっかりと施して、その時を迎えたいものです。

参加者2名(大2人名)

【谷津田・季節のたより】

＜下大和田町＞ 報告：田村光範

- 1月6日 田んぼに雪が積もる。稲株に雪が乗って白ウサギのように見える。
- 1月14日 エナガの群れが杉林の中で樹皮に生みつけられ虫の卵をついばんでいた。
- 1月17日 イノシシ侵入、YPPオダ小屋脇から侵入して、マイ田んぼの方まで広く畔を壊される。
- 1月19日 耳を澄ますとカサカサとアカハラの落ち葉返しの音が静かな谷津田に聞こえてきた。
- 1月29日 アカガエルを畔近くで見かける。そろそろ産卵が近いのかな？

＜小山町＞ 報告：赤シャツ親父

- 1月前半～半ば 6日の積雪以降、次第に寒さ緩み、16日は暖かく感じる朝、冬鳥レギュラーは漏れなく現れ漫ろに活動。コゲラが老木を盛んに叩く音が響く。18日朝は田んぼ脇の道にトラツグミがちょこんと鎮座。おもむろに動いては、路地わきの落ち葉下を盛んに索餌。
- 1月後半 19日には寒さが戻り22日には全面凍結していた田んぼ、以降、次第に寒さ緩み、28日に田んぼの氷はほぼ解けた。29日朝は穏やかな晴れ、エナガ、カシラダカ、アオジ、シジュウカラは群れで飛来、カケスが騒がしく登場、モズは枝と田んぼを何度も往復。

【イベントのお知らせ】

主催：NPO法人 ちば環境情報センター

連絡先：小西 TEL.090-7941-7655, E-mail: yatsudasukisuki@gmail.com

＜下大和田谷津田＞

・森と水辺の手入れ(実施日注意)

日時：2022年 2月19日(土) 9時45分～12時 雨天中止

内容：ほだ木にシイタケなどキノコ類の植菌作業を行います。

持ち物：マスク着用、長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、バッテリー式電動ドリル(あれば)

参加費：無料

・第266回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

日時：2022年 3月 6日(日) 9時45分～12時 雨天決行

内容：ニホンアカガエルの卵塊数カウントをしながら春の兆しを求め、谷津田を巡ります。

持ち物：マスク着用、筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴(通常の)、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後活動する方は弁当、敷物

参加費：100円(小学生以上)

＜小山町谷津田＞

・第201回 小山町 YPP 「畦の整備3」

来年度の米作りを前に冬の間、十分時間をかけてしっかりと田作りを行います。

日時：2022年 2月26日(土) 10時00分～ ☆小雨決行

場所：りんどう広場

※ 一般の方の参加も若干名受付ます。

参加ご希望の方は、tomizo_i@nifty.com 赤シャツ親父 までご連絡下さい。

＜その他＞

・生物多様性ってなかに「いのちのにぎわいとつながり連続講座」第2回

初めての谷津田 キックオフフォーラム

日時：2022年 2月26日(土) 13時30分～15時50分

基調講演：つながる 生物多様性の大切さ(講師：原慶太郎さん<東京情報大学教授>)

その他：保全活動紹介、谷津田クイズなど

会場：損保ジャパン千葉ビル1階 第一会議室(千葉市中央区千葉港 8-4)

参加費：無料

